

9月補正予算が成立

9月定例県議会において、一般会計で40億円の補正予算が成立しました。
急速に進む少子化や大都市圏への人口の流出などにより、現在の最重要課題となっている「人口減少対策」をはじめ、「北陸新幹線の整備促進と開業を活かした誘客の促進」「福井新々元気宣言の実現」の3つを大きな柱として予算化しました。



人口減少対策

人口減少の原因を調査

進学等により都市部に行った後、Uターンする若者が減少しています。そこで、東京大学等と共同で、首都圏で就職した理由などを具体的にインタビューして、生の意見を聴取。今後の人口減少対策に役立てます。

大学生の県内就職を応援

新たに県内外の大学1・2年生を対象としたインターンシップや、女子学生を対象とした「ふくいの就活女子応援員」による福井での就職メリットのPR、「ふくい女性活躍支援企業」への企業見学会を実施。

県内企業への就職者の増加につなげます。



早期のインターンシップで企業理解を深める

子育てしやすい福井をアピール

若者のUターンを促進するため、都市圏在住の若者を対象に、Uターン者等との座談会を開催して、福井の子育てのしやすさなどを直接伝えていきます。

また、来年の春には、幸福度日本一の福井体験ツアーを実施します。

福井で農業を始めよう



今年6月に開校した「ふくい園芸カレッジ」の新規就農コースの定員を来年度から10名増やします。それに伴い、施設整備や誘致活動を強化し、新規就農者を増やします。

新たな農業従事者を育てる
ふくい園芸カレッジ

北陸新幹線の整備促進と開業を活かした誘客の促進

工事の着手・用地の取得を前倒し

福井駅南側にある福井城遺跡の埋蔵文化財調査を前倒しして行い、高架橋工事の着手を早めます。

さらに、調査に長い期間が必要な建物等について、調査の一部を前倒しし、早期開業につなげます。

ダントツブランド 恐竜をPR

福井駅舎の外壁に恐竜の絵をラッピング。西口の広場に設置する3体の動く恐竜モニュメントとあわせて、観光客に「恐竜王国福井」をアピールします。

また、福井県恐竜ブランドキャラクター「Juratic」を活用したPRを強化します。



福井駅舎の恐竜ラッピングとモニュメント(イメージ)

バスツアーで福井へ

北陸新幹線の開業はもちろん、今年の夏の若狭さとうみハイウェイ全線開通により、首都圏や中国、四国からの観光客の増加が見込まれます。

そのため、バスツアーを企画する旅行会社を支援。福井への新たな観光ツアーづくりを進めます。

福井新々元気宣言の実現

元気な産業を応援

新商品の製造・販売費用を補助する「ふくいの逸品創造ファンド」の対象を機器整備などにも拡大。さらに、嶺南事業者への支援を充実します。

また、県内ものづくり企業の生産性を向上させるため、作業工程や在庫管理などへの指導や助言を行うインストラクターを公募・選定します。

中山間地域の農業を活性化

人手不足等の問題を抱える中山間地域で、企業が社会貢献として行う野菜の収穫などの農作業や販売の応援を促し、地域特産物の生産や販路の拡大を図ります。

初の給付型奨学金を創設

県民や企業の皆さんからの寄付金や、ふるさと納税を活用して、勉強やスポーツに励む低所得世帯の県内高校生に、年額約20万円を高校3年間にわたって給付する奨学金制度を新たに設けます。

防災対策を強化

花崗岩が風化し砂状となったマサ土層は、土砂災害の危険が大きい。県内の花崗岩地域の風化の度合いを調査して、警戒区域等の見直しに反映します。また、防災拠点や避難所等に、太陽光発電や蓄電池などの再生可能エネルギー設備を導入し、災害に強い地域づくりを進めます。

国体入賞目指して選手を強化

平成30年の「福井しあわせ元気国体」での入賞が期待できる競技を「特別強化競技」に指定。冬季に他県へ出向いて、強豪チームとの実戦練習を行ったり、スーパーアドバイザーの指導等により、競技力の向上を図ります。



スーパーアドバイザーによる熱心な指導